



太陽と大のなかよし戸沢の子

「関わり」の中で自他を思いやること

校長 村田 紳

12月17日（火）、たくさんの保護者の方に授業参観、PU講演会にご来校いただき、本当にありがとうございます。PU講演会では、県家庭教育アドバイザーの小松先生から「子どもとの向き合い方・関わり方」を教えてくださいました。保護者の皆様だけでなく、私たち教職員も子どもが考えているとき、悩んでいるときに「待つ」ことの大切さを教えてくださいいただいた気がしています。また、関わり方については、「人と社会が関わること」の大切さをお話しいただきました。先日、学校では、2、3年生が村山産業高校の生徒と「ハーバリウム作り」を通して交流しました。高校生の接し方にあこがれを持ち、「こんな優しい人になりたい。」と子ども達が感じてくれていたことが「関わり」の良さだと思います。もちろん、3年生が2年生に接する姿も「見事なお兄さん、お姉さんの良い姿」でした。校内の活動でも1～3年生が図書委員会の活動を体験する機会がありました。活動の様子は図書だよりをご覧ください。

12月20日（金）の校長講話では、ウォルト・ディズニーの言葉を引用して、子ども達に読書のすすめを話しました。講演会の中でも脳の健康を守るために「読書をする」ということがありました。読書をする、想像力が膨らみ、語彙力が上がる、つまり「相手を思いやる想像力を磨くことができ、自分の想いを正しく伝える」ことにつながるということです。

年末年始休みには、様々なイベントがあり、保護者も子ども達も忙しい毎日になるかもしれません。そんな忙しい中、「ほっ」と一息ついたときに、傍らに本があって、心を癒してくれる、そんな素敵な時間が持てたらいいなあ、そう思っています。

子ども達は、年末年始休みに三冊の本を借りていきます。その中の一冊は、図書委員が選書した「シークレット本」になっています。きれいな包装の中にどんなジャンルの本があるのか、ワクワクしながら開封し、想像の世界に羽ばたいてほしいと願っています。



12月の活動から

◇ 授業参観 12/17 の様子 ～参観いただき、ありがとうございました◇



◇ PU 講演会 ◇

山形県家庭教育アドバイザーの小松ひろみ先生をお招きしての講演会でした。先生の生活経験がふんだんに盛り込まれ、子どもとの関わり方について学ぶ機会になりました。



12月の活動から 2

- ◇ 12/6 「ハーバリウム作り」を通して
村山産業高校の皆さんと2、3年生が交流しました。



- ◇ 12/6 5、6年生のバイキング給食の様子です♪



「金山形」ハクサイ栽培を通して食育授業を行う村山市・吉沢小学校の6年生が、ハクサイの収穫体験をした。児童らは、JAみちのく村山とJA全農山形の協力で、フードロスについても学んだ。収穫後は、規格外品と見比べて出荷基準を体験。規格外品の活用策の検討を通じて、考えを深めていく。児童らは、市内でハクサイを栽培する世原農園さんの「さくら農園」を定期的に訪れて農作業を行ってきた。この日は、世原さんから指導を受けながら、児童13人がハクサイを収穫。「大きさが顔の2倍以上ある」「いい香りがする」など

ハクサイ収穫 食ロス学ぶ

全農山形・JAみちのく村山 児童の食育授業

ハクサイを収穫した児童ら（山形県村山市で）

と笑顔を見せた。夏休み中に播種（は）し、1週間ほど経った。児童らは「種まきから見ると、実が流石で、収穫した時のすっきりとした重さ、とてうれしかった」とも学んだ。

と話した。同校では総合学習の一環で、農産物の生産や販売、流通を教わる。流通過程などで廃棄される農産物規格外品の課題なども学んだ。

**12/15 付け日本農業新聞
に6年生のフードロス学
習が取り上げられました。**
(転載については新聞社より許諾
いただいております)

これからも地域と共に子どもを育てていきます。
学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。